

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●モーリスが年度代表馬に輝く

2015年度のJRA賞各賞は下記のとおりとなりました。また調教師部門では堀宣行調教師(美浦)が最多勝利と最高勝率、池江泰寿調教師(栗東)が最多賞金獲得、松永幹夫調教師(栗東)が優秀技術のタイトルを、騎手部門では戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)がMVJと最多勝利、C.ルメール騎手(栗東・フリー)が最高勝率、M.デムーロ騎手(栗東・フリー)が最多賞金獲得、五十嵐雄祐騎手(美浦・フリー)が最多勝利障害、鮫島克駿騎手(栗東・浅見秀一厩舎)が最多勝利新人のタイトルをそれぞれ獲得。河崎秋子氏の「颯風の王(ぐふうのおう)」が馬事文化賞を受賞しています。

- 年度代表馬……………モーリス(美浦・堀宣行厩舎)
- 最優秀2歳牡馬……………リオンディーゾ(栗東・角居勝彦厩舎)
- 最優秀2歳牝馬……………メジャーエンブレム(美浦・田村康仁厩舎)
- 最優秀3歳牡馬……………ドゥラメンテ(美浦・堀宣行厩舎)
- 最優秀3歳牝馬……………ミッキークイン(栗東・池江泰寿厩舎)
- 最優秀4歳以上牡馬…ラプリーデイ(栗東・池江泰寿厩舎)
- 最優秀4歳以上牝馬…ショウナンパンドラ(栗東・高野友和厩舎)
- 最優秀短距離馬……………モーリス(美浦・堀宣行厩舎)
- 最優秀ダートホース…コパノリッキー(栗東・村山明厩舎)
- 最優秀障害馬……………アップトゥデイト(栗東・佐々木晶三厩舎)

●ゴールドシップらの競走馬登録抹消

2012年の皐月賞や菊花賞などGIで6勝をあげたゴールドシップ(牡・抹消時6歳/栗東・須貝尚介厩舎/JRA通算27戦13勝・海外1戦0勝)は12月27日(日)付で、2012年JBCクラシック(川崎・JpnI)などの勝ち馬ワンダーアキュート(牡10歳/栗東・佐藤正雄厩舎/JRA通算28戦9勝・地方20戦4勝)は1月6日(水)付で、2012年ジャパンカップダート(GI)などの勝ち馬ニホンピロアワーズ(牡9歳/栗東・大橋勇樹厩舎/JRA通算29戦9勝・地方13戦4勝)は1月7日(木)付で競走馬登録を抹消されました。ゴールドシップは北海道新冠町のビッグレッドファーム、ワンダーアキュートは北海道新ひだか町のアロースタッド、ニホンピロアワーズは北海道新ひだか町のレックススタッドで種牡馬となる予定です。

●リアファルが故障

2015年神戸新聞杯(GII)の勝ち馬リアファル(牡4歳/栗東・音無秀孝厩舎)は、左前屈腱々靭炎を発症していることが判明しました。休養期間は未定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●園田ジュニアCは人気のノブタイザン【各地の主要2歳重賞】

園田ジュニアC(12月31日、園田、1700^円)は、出遅れて後方からの競馬を余儀なくされたノブタイザン(牡、父ディーブスカイ)がゴール前で差し切り、単勝1.2倍の圧倒的支持に応えました。ライデンリーダー記念(12月30日、笠松、1600^円、牝馬)は、北海道、金沢、佐賀、愛知と転戦した2番人気のキニナルーイ(父シニスターミニスター)が逃げ切り勝ち。東京2歳優駿牝馬(12月31日、大井、1600^円)は、これが北海道から川崎への移籍緒戦となった単勝1.9倍で断然人気のモダンウーマン(父サウスヴィグラス)が3番手から直線に入って間もなく抜け出し、4度目の重賞制覇を果たしています。

●ホワイトフーガが登場、1月13日のTCK女王盃(大井)

TCK女王盃(JpnIII、大井、1800^円)は、JBCレディスクラシック優勝馬ホワイトフーガが中心、以下ディアマイダーリン、パワースポット、タマノブリュネット、ノットオーソリティ(船橋)までが争覇圏内と考えられます。他にJRAからは、ダート未経験のセキショウが出走の予定です。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●2015欧州の平地競馬～仏、独の首位騎手争い最後までもつれる

まず英国の騎手成績は昨年5月2日～10月17日のハイシーズンだけが対象とされ、S.デソウサが132勝で初の首位騎手。調教師(昨年11月7日までの1年間が対象)はJ.ゴスデンが530万553^{ポンド}取得で2度目の1位。馬主(騎手と同じ集計期間)はゴドルフィンが10度目の首位。種牡馬成績(アイルランドを含む)はガリレオが573万5195^{ポンド}取得で6年連続7度目の首位。2位はドバウイ。アイルランドの騎手成績はP.スマレンが103勝で首位。調教師はA.オブライエンが99勝で1位。取得賞金も断然トップ。フランスの騎手成績はP.ブドーが179勝でC.スミヨンの178勝を抑えました。調教師はA.ファールが断然の836万2910^{ユーロ}取得で6年連続27回目のトップ。馬主はK.アブデラー殿下が首位。種牡馬成績はドバウイが335万1410^{ユーロ}取得で1位。ケープクロスは凱旋門賞馬ゴールデンホーンを出しながら2位でした。ドイツでは12月29日のシーズン最終レース(ノイス競馬場)を勝ったA.シュタルケが86勝でA.ピーチェと並び、首位騎手2人でした。